

4. 家畜の品種

家畜の種類は、基本的に種 species により大別することができる。牛，馬，メン羊，山羊，豚，鶏などの分類がそれである。また，それぞれの種には多くの品種がある breed, race があり，さらに，それぞれの品種には多くの系統 strain がある。

品種や系統は種以下の分類として取り上げられるもので，動物分類学に基づく分類ではなく，産業目的をもった分類である。人類は古い時代から野生動物を飼い馴らし，人類の生活にとって有用と思われる，乳，肉，卵，毛，皮，役用などを目的とした多くの家畜の品種や系統を作出してきた。

a. 家畜の種の分類

家畜は，動物分類学にしたがって，門 phylum, 綱 class, 目 order, 科 family, 属 genus, 種 species によって分類される。種は分類学上の最下級の位置に置かれている。この様な分類は，形態・遺伝・発生・生理・生態学に基づき，種を基盤として，類似種の集団をできるだけ客観的に区分することによってまとめられたものである。

家畜の主なものは，脊椎動物門 Vertebrata の哺乳動物綱 Mammalia と鳥綱 Aves に属するものに大別される。哺乳動物綱に属する家畜では，馬属のように奇蹄のものと，牛属と豚の属する野猪属のように偶蹄のものに区別される。また，偶蹄類でも胃の数とその生理機能により，反芻亜目と非反芻亜目に分けられる。すなわち，反芻亜目に含まれる牛属，水牛属，羊属，山羊属では，4 個の複胃からなり，生理的に反芻する動物である。非反芻亜目に含まれる野猪属は単胃であり，反芻はしない。

家畜の種名は2名式命名法により，属名と種名とよりなる学名で表される。属名の頭文字を大文字，種名の頭文字を小文字で表し，学名の書体はイタリックを用いる。たとえば，ヨーロッパ牛 *Bos taurus*, 水牛 *Bubalus bubalis*, 馬 *Equus caballus*, ロバ *Equus asinus*, メン羊 *Ovis aries*, 山羊 *Capra hircus*, 豚 *Sus scrofa*, 鶏 *Gallus gallus* 等があげられる。

b. 家畜の品種の分類

家畜の品種の成立は，その起源が同じ種であっても，何らかの原因で集団の分離とか隔離が生じ，異なる地域，異なる環境下で飼育され，さらに，異なる用途のために，長期間にわたって育種されてゆくうちに，元の同種の集団と明らかに区別できる遺伝的特徴をもった集団が形成されるようになり，それぞれの品種が成立していった。

(1)用途による分類

牛：乳用種，肉用種，役用種，兼用種（乳肉，役肉，乳役肉）

馬：乗用種，駕用種，輓用種，駄用種

メン羊：羊毛種，肉用種，毛肉兼用種，毛皮用種，乳用種

山羊：乳用種，肉用種，毛用種，毛皮用種

豚：ラード型 lard type, ベーコン型 bacon type, ミート型 meat type

鶏：卵用種，肉用種，卵肉兼用種，愛玩用種

(2)主な品種

詳細については、URL: nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/lab/3/animsci/animal_breeding_03/#breed を参照のこと。

牛：ホルスタイン，ジャージー，ガンジー，エアシャー，ブラウンスイス
ショートホーン，ヘレフォード，アバディーンアンガス，黒毛和種，日本短角種
インドほう牛（ゼブー）

馬：アラブ，サラブレッド，北海道和種，ロバ

メン羊：オーストラリアンメリノー，コリデール

山羊：ザーネン，シバヤギ

豚：大ヨークシャー，ランドレース，バークシャー，ハンプシャー，デュロック

鶏：白色レグホン，ロードアイランドレッド，白色コーニッシュ